

平成 31 年度「新宿区高齢者の保健と福祉に関する調査」

(2) 聞き取り調査について (案)

1 概要

(1) 実施方法

聞き取り対象に基礎データを事前調査した上で、対象事業の所管課職員等が質問項目の聞き取りを行う。

(2) 聞き取り対象について

①活動団体（運営者及び参加者）

・活動歴が長い ・活動歴が短い（新しい団体） ・男性参加者（がいる団体） ・以前はなかなか外出や、団体活動には参加するタイプではなかったが、参加するようになった人等、社会参加のヒントになりそうなエピソードをお持ちの方（がいる団体）等を対象とする。

②認知症ご本人

高齢者総合相談センター職員が関わりのある認知症本人

(3) 聞き取り調査の主なねらい

実際に地域で活動している方、団体の傾向や活動への思いを把握することにより、区民主体の活動が効果的に継続したり、新たに生まれたりすることを促す仕組みを探る。また、運営者、参加者それぞれの役割意識を引き出すための施策の展開、引きこもりがちな方への有効なアプローチ方法等を探る一助とする。

2 聞き取り対象

(1) 活動団体

活動種別等	聞き取り対象 全団体数等 (想定/全団体数)	各団体登録者 (または平均参加者数)	聞き取り実施 運営者数 (想定)	聞き取り実施 参加者数 (想定)
通所型住民主体 サービス実施団体	4 団体 (4 団体中)	平均 1 3 名	4 名	約 2 4 名 (1 団体 5、6 名 × 4 団体)

新宿いきいき体操ができる会	5 団体（21 団体中）	10 名から 20 名	4 名（2 団体は運営者が同じ）	約 25 名 （1 団体 5 名 × 5 団体）
薬王寺地域ささえあい館 高齢者等支援団体	5 団体（10 団体中）	運営者：約 54 名 （各団体平均 7 名） 参加者：平均 14 名	5 名	約 25 名 （1 団体 5、6 名 × 5 団体）
健康づくり課 健康づくり推進係 【調整中】	「しんじゅく 100 トレ」に取り 組むグループ	未定 ※ 31 年度から本格実施のため、グループの立ち上げ数により詳細は検討		
食事サービス グループ	5 団体（16 団体中）	平均 運営者：13 名 参加者：35 名	5 名	約 25 名 （1 団体 5、6 名 × 5 団体）
地域安心カフェ	2 団体（8 カ所中） ※ 住民団体	平均 20 名 （団体により差異あり）	2 名	約 10 名 （1 団体 5 名 × 2 団体）

（2）認知症ご本人

種別等	聞き取り対象	聞き取り実施 参加者数（想定）
認知症本人	高齢者総合相談センター職員が関わりのある 認知症本人	10 名（各高齢者総合相談センターにつき、聞き取り可能な認知症本人 1 名程度）

3 質問内容について

丸数字のものは、事前に紙ベースの基礎調査を行い、聞き取りを実施する。

(1) ①活動団体：運営者

運営者への聞き取り調査の質問項目について		
No.	質問内容	ねらい
①	活動開始時期や、前身になった活動があれば、現在の形になった経緯を教えてください。	運営者の活動契機を把握し、担い手の発掘、育成の施策の参考とする。
②	活動を立ち上げる、原動力になったもの・契機はどんなことですか。	
③	現在実施している活動内容に決めた理由を教えてください。	運営者が介護予防に資する活動で、参加者が楽しめる内容を探るため。
④	活動を立ち上げる際、どんな支援が有効でしたか。	必要とされる立ち上げ支援の在り方を探る。
⑤	活動を継続できている要因は、なんだと思いますか。	必要とされる活動継続のための支援の在り方を探る。
⑥	参加者の変化を感じたのはどのようなことですか。	現在活動を運営している団体の特徴を把握するため。
⑦	参加者が楽しんでいるプログラムや、企画、やりとりなどはどのようなものですか。	
⑧	定期的に利用者が来てくれている理由はどのようなものだと思いますか。	
⑨	運営者として、やりがいを感じるのはどのような時ですか。	担い手発掘・育成の手掛かりにするため。

運営者への聞き取り調査の質問項目について		
No.	質問内容	ねらい
10	活動を始める前と、現在では、自分の気持ちにどのような変化がありましたか。	担い手発掘・育成の手掛かりにするため。
11	区民の活動だからできることなど、自分の団体の強みは、なんだと思いますか。	ひきこもりがちな方を引き出したり、参加者を増やし、継続して通うための施策の手掛かりとするため。
12	なかなか外出しない方が、活動に参加するようなケースがあったら教えてください。	
13	活動の課題と感じていることを教えてください。	事業をより効果的に実施するため、また団体の課題や、活動に来なくなった方の理由などから、必要とされる支援の手掛かりとするため。
14	今の活動をどのように発展させていきたい、またはこんなふうに安定的に運営していきたいという夢や見通しはありますか？	
15	活動を継続・拡大するために、どんな要素・支援が必要だと思いますか。（自力でできること・区などに求めること）	
16	活動への参加者を今後増やしていくためにどのようなことが必要だと考えますか。	
17	この活動に男性が参加しやすくするためには何が必要だと思いますか。	
18	活動を行う仲間を今後増やしていくために、どのようなことが必要だと考えますか。	

(1) ②活動団体：参加者

丸数字のものは、事前に紙ベースの基礎調査を行い、聞き取りを実施する。

参加者への聞き取り調査の質問項目について		
No.	質問内容	ねらい
①	どのような契機で、この活動に参加されましたか。 (知った媒体や紹介してくれた人)	活動参加の経路を把握し、住民主体活動の周知の在り方を探る。
②	この活動をどのくらい継続していますか。また、通えなくなった期間がある場合、理由を教えてください。	活動参加者が住民主体活動に求める要素、効果を探るため。また、参加者の中での自身の役割を探るため。
③	この活動に定期的に参加し続けている理由を教えてください。 (何を求め、どこが気に入っているか等)	
④	活動に参加したことで、変化した身体面・精神面・活動範囲・活動量の変化を教えてください。	
⑤	活動に参加している仲間の変化を感じていますか。それはどのようなことですか。	
⑥	活動に参加して出会った仲間と、活動以外でもつながりが出来ましたか。	参加者の心身の変化や、地域とのつながりの実態を探るため。
⑦	なかなか外出をしない近隣の方に、活動の参加を促したことはありますか。	
8	共に活動する仲間を増やすためにあなたはどのようなことができますか。	
9	この活動に男性が参加しやすくするためには何が必要だと思いますか。	事業をより効果的に実施するための手掛かりや普及啓発の参考とするため。

参加者への聞き取り調査の質問項目について		
No.	質問内容	ねらい
10	このような住民主体の活動を区内に増やしていくために、どのような仕組みがあるとよいと思いますか。	事業をより効果的に実施するための手掛かりや普及啓発の参考とするため。
11	『参加者から担い手となることで、役割が生まれ健康づくりに役立つ』と言われてますが、あなたは担い手側になりたいと思いますか。どんな支援があれば、担い手側に回ることを考えますか。	参加者側から運営側へ役割を変える要素を探る。また、あえて質問することで、その必要性を伝える。

(2) 認知症ご本人

認知症ご本人への聞き取り調査の質問項目について		
No.	質問内容	ねらい
1	認知症ご本人の気持ちを本人自身の言葉で引き出していく。 内容として、①生きがいや楽しみにしていることなど、本人の生活について ②周りの人に伝えたいことなど、本人を取り巻く人のことや周辺環境について、感じていることを聞き取っていく。	認知症ご本人の気持ちを伺い、認知症サポーター養成講座や講演会など、今後の認知症の理解への普及啓発に反映させていくとともに、高齢者保健福祉計画を策定する上での参考とする。